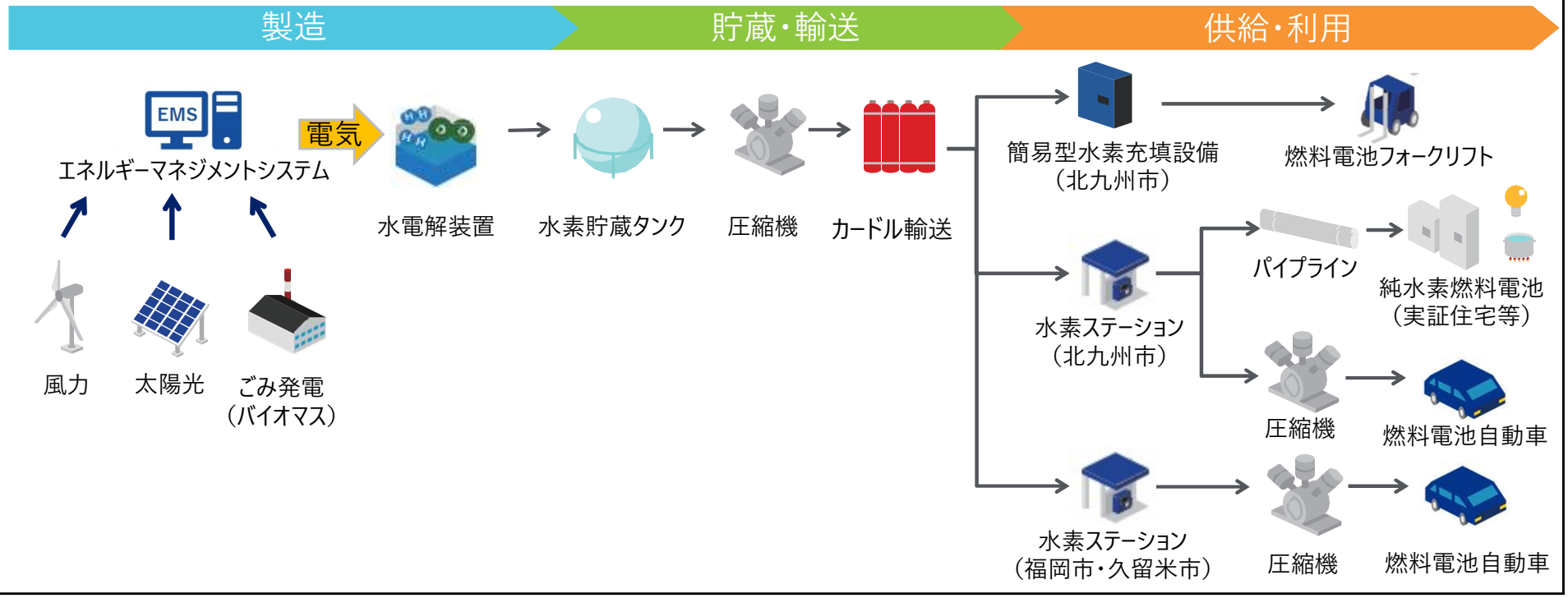
北九州市における地域の再エネを有効活用したCO2フリー水素製造・供給実証事業（福岡県北九州市、実施代表者：北九州パワー）

実証概要とサプライチェーン図

概要	太陽光発電や風力発電など再エネの施設が集積する北九州市響灘地区において、多様な再エネの余剰電力を効率的に用いて水素を製造する「水電解活用型エネルギーマネジメントシステム」を開発・導入することで、CO2フリー水素の低コストなサプライチェーンモデル構築を目指す。 余剰電力を安価に調達して水素を「つくり」、県内各地に「はこび」、「つかう」一連のサプライチェーンを実際に運用する中で、低コストなCO2フリー水素の製造・供給モデルを構築し、県内におけるCO2フリー水素の製造・供給拠点化とCO2フリー水素の普及を図る。		
事業場所	福岡県 北九州市・福岡市・久留米市	**事業期間**	令和2年度～令和4年度（予定）

サプライチェーン図



（北九州パワー実証事業資料より作成）